

南小便り

No.32

平成 28 年 12 月 14 日

加東市立滝野南小学校
学 校 通 信

今年も5、6年生がしめ縄飾りを作りました。昨年度よりずっと増えて25名もの指導者の方に来ていただきました。本当にありがたいです。

子どもたちは、おじいさんのおっしゃる

ことに耳を傾け、手元に視線を注いでいます。おじいさんは、子どもたちの苦戦する様子を笑顔で見ながら、ときには手を

添え、ときには見本を見せて、共同作業でしめ縄飾りができ上がっていきます。普段は、室内遊びといえはコンピュータ

ゲームに熱中する子どもたちが、このときばかりは日本の伝統文化に一生懸命になっています。子どもたちの様子を見てみると、2年続けてやる意味がよく分かります。5年生のときは一つもうまく作れなくて、半分以上作ってもらったり、全部作ってもらったものをいただいたりしていた子が、6年生では三つも四つも上手に作り上げました。でき上がったしめ縄飾りを嬉しそうに持って帰る子、もっと時間があつたらもっと作れるのにと言う子。わらが積んである軽トラのそばまで来てわらをもって帰る子……。

今年も、稲坂陽吉さんが中心になってこの活動を支えてくださいました。100束ものわら打ちに、3日間もかかった

そうです。「でもな、おかげでその日はよう寝れたで！」と、笑顔でお話されました。

そして、おじいさん方がご指導される後ろ姿を見ながら、日本には昔から稲作があるからこそわらが生活の必需品になったこと、わらでものを作るとは子どもの仕事でもあったこと、わらを編んで縄を作りそれで縄跳びをしたことなども、懐かしい目でお話されました。わたしは、遠い昔、祖父が背中を丸めて、むしろの上でしめ縄飾りを作っていた姿を思い出しました。「これ、持って帰って飾っとけ」。

地域の指導者の皆さま、心より感謝申し上げます。来年もよろしく願いいたします。



「なるほど、なるほど、こういうことか。」
「そうそう、上手やねえ。」……温かい言葉のやり取りでしっかりとした縄が編まれています。



ひまわり、たんぼぼ、すみれ学級のみんが、自分たちで育てた野菜でポトフを作りました。ハクサイが、ダイコンが、ニンジンが、なんと優しい味なんでしょう。なんとおいしいスープになったんでしょう。食べる者みんなが笑顔になりましたよ。ごちそうさまでした。



今年2回目の大久保雅先生との絵手紙作り。楽しい年賀状の完成。子どもたちのアイデアも光っています。ご準備、ご指導ありがとうございました。子どもたちが言っていましたよ。「大久保先生、3回目はいつするの？」。



跳び箱教室。跳べなかった子が跳べるようになったり、もっと高い跳び箱へと挑戦したり。熱気にあふれた4日間でした。